

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(9月15日～9月21日)

2020年10月8日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ミンスク市内で「正義の行進」に10万人超が参加。(9/20)
- 調整評議会幹部会のコレスニコヴァ氏（ババリコ陣営代表）及びズナク氏が相次いで刑事訴追される。(9/16,17)
- チハノフスカヤ元候補及び調整評議会幹部会メンバーのラトゥシコ氏が欧州議会外務委員会に出席。(9/21)

内政・外交

【ルカシェンコ大統領動静】

- ベラルーシの政治活動家との会合の発言(9/16)
「ロシアや中国、他の CIS 諸国や中央アジア諸国等の、我々を理解する地域で力を強める必要がある。数年陰を潜めていた隣国の反ベラルーシ政策は完全に顕在化した。」
「米国、ポーランド、リトアニア、チェコ、ウクライナ等の侵略国は、10年かけて、今回のカラー革命の準備をしていた。」
「新憲法には権力の抑制と均衡、バランスを盛り込むべき。」
「ベラルーシにおける今日の情勢への準備行動は10年間に亘って行われていた。国を破壊する特別シナリオが策定された。主な攻撃主は米国といくつかの欧州諸国だ。」
(9/16 国営ベルタ通信、ベラパン通信)

- ショイグ露国防大臣との会談での発言(9/16)
「『ベラルーシが弱体化した』、『ロシアがベラルーシから離れた』という考えは、馬鹿のためのものである。貴大臣は、ブレストからウラジオストクに至る共通祖国の防衛という意味において、我々が頼りになることを疑う必要はない。」
(9/16 国営ベルタ通信)

- 調整評議会幹部会のラトゥシコ氏（元駐仏大使）

と元駐スウェーデン大使から特命全権大使の職位を剥奪。また、マルコヴィチ駐ラトビア大使を解任。(9/16)
(9/16 TUT.by)

- 女性のフォーラムに出席して講演。(9/17)
「われわれは市街地から軍の部隊を引き上げ、その半数を、リトアニアとポーランドを手始めに、西側諸国との国境を警備し閉鎖するために配置せねばならず、また、極めて残念だが、我々の兄弟であるウクライナとの国境も同様である。」
(9/17 ベラパン通信)

【内政】

- チハノフスカヤ元候補がウクライナ新聞社のインタビューに対応(9/16)
「ロシアは、資金供与により、ルカシェンコによる攻撃行為を支援している。この資金は、抗議運動に対する圧力や治安部隊の装備に向けられている。」
「ルカシェンコが平和裡に権力移行をするなら、彼の安全を保証する用意がある。」
(9/16 ベラパン通信)
- ベラルーシ国立情報学・ラジオ工科大学の一部の学生が、拘置所で暴力を受けたと公表した学生への連帯の印としてストライキを実施。(9/16)
(9/16 ベラパン通信)

●調整評議会幹部会のコレスニコヴァ氏（ババリコ陣営代表）が刑法第条 361 条 3 項（マスメディアとインターネット網を通じた国家の安全を害する行為の教唆）の罪で訴追される。（9/16）

（9/16 TUT.by）

●調整評議会幹部会メンバーのズナク氏が刑法第条 361 条 3 項の罪で訴追される。（9/17）

（9/17 TUT.by）

●ババリコ陣営事務所の賃借先ビルの所有者を「極めて大きな金額の税逃れ」の廉で拘束。（9/16）

（9/16 TUT.by）

●ミンスク市議会最年少議員のテサコヴァ氏（25）、自らをリコールするよう市民に呼びかけ。（9/19）

抗議活動中に罪もなく苦しめられた人々を助けることができないことが理由とのこと。

（9/19 ベラパン通信）

●治安部隊員 1000 名以上の個人情報テレグラム・チャンネルに流出。（9/19）

（9/20 TUT.by）

●ミンスク市内で「正義の行進」に 10 万人超が参加。（9/20）

日中、地下鉄6駅が閉鎖された他、インターネット通信が一部遮断された。特務警察などが数カ所の通りを封鎖したため行進の開始は遅れたが、封鎖箇所立ち止まらずにルートを変更しつつ平和裡に行進が行われた。また、ブレスト、モギリョフ、ヴィテプスク、ゴメリなど各州でも抗議活動があり、治安部隊が参加者を拘束。全国で 442 人が逮捕され、内 330 人が拘置所に留置された。南部ゴメリでは障害者とボランティアを含む 30 人近くが逮捕された他、グロドノでは妊婦も逮捕された。

（9/20 TUT.by、9/20, 21 ベラパン通信）

●医療関係者が政権による人権侵害と暴力に反対

するビデオメッセージを YouTube に投稿。（9/21）

2000 人以上の医療関係者が同メッセージに賛同。

（9/21 ベラパン通信）

●裁判所が国営ベラルーシ・カリ社のスト委員会共同議長に 25 日間の拘留の判決を宣告。（9/21）

（9/21 ベラパン通信）

【外交】

●議会共和国院(上院)幹部会、9 月 10 日に出されたリトアニア最高会議の決議（ルカシェンコ氏が正統な指導者ではないとする内容）に対してコメント。

（9/15）

「同決議の採択により、リトアニアの議員達はベラルーシの内政事項に露骨に介入しており、ベラルーシ国民が自ら指導層を選び自国の発展の道を定める主権的権利に対する明らかな不敬を行っている。」

（9/15 国営ベルタ通信）

●ボレルEU外務・安全保障政策上級代表、EUはルカシェンコの正当性を認めないと表明。（9/15）

（9/15 TUT.by）

●ベラルーシ情勢に関するウクライナの立場表明（9/15）

・ゼレンスキー・ウクライナ大統領、「ベラルーシでは、政権が対話に向かわなければ、マイダンのような事が起こりうる」旨発言。

・ウクライナ議会、ベラルーシの大統領選挙の公式結果を認めない決議を採択。

（9/15 ベラパン通信）

●欧州評議会 (CoE) 議員会議 (PACE) が声明で、ベラルーシにおける平和的抗議者に対する治安機関による行き過ぎた力の行使を決然と非難し、治安部隊の行為について透明で偏向のない捜査を呼びかけ。

（9/15）

（9/15 ベラパン通信）

●国際人権団体ヒューマン・ライツ・ウォッチが、国連と欧州安全保障条約機構はベラルーシ大統領選挙後の治安機関による暴力の事実の調査を開始する必要があるとの考えを表明。(9/15)

(9/15 TUT.by)

●マケイ外務大臣の発言(9/15)

「EUによる、ベラルーシ情勢を客観的に判断することに対する完全なる拒否は、我々を失望させている。選挙は、理想的ではなかったが、国民の大多数がその勝者を決めた。」

(9/15 ベラパン通信)

●ファン・デア・ベレン・オーストリア大統領の発言(15日)

「ベラルーシ情勢は、力の行使のない対話によるのみ、解決するであろう。ベラルーシ政府が(対話以外の)他の行為がコントロール不能なプロセスを招くという歴史の警告を真剣に受け止めることを願う。」

(9/15 ベラパン通信)

●リトアニア外務省の声明(16日)

「チハノフスカヤ氏が、ベラルーシ共和国のリーダーであると考える。」

(9/16 TUT.by)

●フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長の発言(16日)

「EUはベラルーシ国民の味方である。ベラルーシ国民は、誰かのチェスの駒ではない。」

(9/16 ベラパン通信)

●ステイブロック世界反拷問機関事務局長の発言(9/16)

「ベラルーシでは、人道に対する犯罪が行われている。大統領選後、拷問や非人道的な扱いが予め企てられた計画的かつ組織的な政策が見られた。」

(9/16 ベラパン通信)

●ナルイシキン露対外情報長官の発言(9/16)

「西側諸国は、ベラルーシ大統領選のずっと前から抗議運動の準備を開始した。米国は、2019年～2020年

にかけ、反政府系の演説に2千万ドルの資金供与を実施した。これらの資金は、独立系ブロガーやSNSアカウント間の繋がりの組成や、活動家の街頭デモ実施準備に使用された。」

(9/16 TUT.by)

●欧州議会がベラルーシ情勢に関する決議を採択(9/17)

今次任期満了後はルカシェンコ氏を大統領として認めないこと、ルカシェンコ氏を含むベラルーシ政権指導層及び同政権を支援する一部ロシア人に制裁を科すこと、ベラルーシの政権に対する財政支援を拒否することを呼びかける内容。

(9/17 TUT.by)

●スクヴェルネリス・リトアニア首相とモラヴィエツキ・ポーランド首相がベラルーシ国民支援を内容とする宣言に署名。(9/17)

モラヴィエツキ・ポーランド首相はEUに対し、ベラルーシ情勢の安定化のため最低10億ユーロ拠出することを提案。当該財政支援は9月24、25日のEU首脳会合で同首相が提案する支援パッケージの一部。

(9/17 ベラパン通信)

●ポンペオ米 국무長官とラーブ英国外相が会談し、ベラルーシ情勢を協議。(9/17)

ポンペオ長官は記者会見で、「米国は英国・EUと、ベラルーシ国民の『合法的な望み』を守るための制裁を調整している」旨発言。

(9/17 ベラパン通信)

●カリユライド・エストニア大統領がツェプカロ氏の妻と面会し、ベラルーシ当局に市民に対する実力行使による脅しを止めるよう呼びかけ。(9/17)

(9/17 ベラパン通信)

●ラブロフ露外務大臣の発言(9/17)

「チハノフスカヤ氏が、治安部隊に対し国民の味方につくよう呼びかけていることは、祖国への裏切りを誘うものであり、刑事犯罪である。」

(9/17 ベラパン通信)

●ベラルーシの人権情勢を調査するための専門チームが欧州安全保障協力機構(OSCE)に設置。(9/18)

(9/18 ベラパン通信)

●ベラルーシ駐在の欧州外交団、ベラルーシの政治囚への連帯活動の立ち上げを発表。

(9/18 ベラパン通信)

●ザハロフ露外務省報道官の発言(9/19)

「来るEU外相会合へのチハノフスカヤ元候補の参加は、非公式なものであっても、EUが表明していた、ベラルーシの状況に関する地政学(的動機)はないとの発言から逸脱するものと見なす。」

(9/19 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補及び調整評議会幹部会メンバーのラトウシュコ氏が欧州議会外務委員会に出席。(9/21)

チハノフスカヤ元候補は、ベラルーシは国内の状況をロシアの介入なしで解決する能力がある旨発言。

(9/21 ベラパン通信)

●ポレルEU外務・安全保障政策上級代表の発言。(9/21)

「EU外相会合に先立って、加盟国外相はチハノフスカヤ元候補と朝食を共にして議論した。」

「EU外相理事会は、次回の会合の際に対ベラルーシ制裁を採択できるよう、できる限りのことをする。」

「危機打開のため、ミンスクを訪問する用意があるが、ルカシェンコ氏はEUとの協力を拒んでいる。」

(9/21 ベラパン通信)

経済

【国内経済】

●2020年1月-8月期のベラルーシのGDPは前年同期比1.3%減の930億ベラルーシ・ルーブル。

(9/15 ベラパン通信)

●2020年1月-8月期のベラルーシの財政赤字は16億ベラルーシ・ルーブル。財務省の計画では通年の財政赤字は30億ベラルーシ・ルーブルの見通し。

(9/15 ベラパン通信)

●意図的な職務怠慢による事実上のストライキにより、国営ベラルーシカリ社は8月に鉱石と製品の出荷が計画どおり実施できず。

(9/15 ベラパン通信)

●国際格付け会社スタンダード&プアーズ、ベラルーシ開発銀行の融資能力格付けを「B」に維持。ただし、見通しを「安定的」から「ネガティブ」に変更。

当該変更は、同行が100%国家所有となっていることを踏まえ、先立ってベラルーシのソブリン債の見通しを同様に変更したことに合わせたもの。

(9/21 ベラパン通信)

【対外経済】

●シルアノフ露財務大臣、ロシアは対ベラルーシ財政支援を段階的に提供すると表明。(9/16)

2020年はユーラシア安定化発展基金からの融資と国家間融資が各5億ドルで計10億ドル。2021年は国家間融資で5億ドル。

(9/16 ベラパン通信)

(了)